



みどり
水土里ネット

未来の「水」「土」「里」を
創造する

2025.3.25 No.4

新潟の 土地改良

新潟県土地改良
事業団体連合会

Vol.626

令和6年度 第4号

Contents

令和7年度 農業農村整備事業関係予算の概算決定	1	令和6年度 土地改良区(連合)役職員合同研修会	6
農業農村整備に関する意見交換会(予算キャラバン)	2	令和6年度 換地計画作成及び換地処分実務研修会	7
新潟県知事と農林漁業六団体との懇談会	3	令和6年度土地改良区(連合)技術系職員研修会	
令和6年度 北陸四県土地改良事業団体協議会 総務部会・設計部会／		「低炭素化に向けた講演&ワークショップ」	8
令和6年度 新潟県園芸振興大会	4	非補助農業基盤整備資金のご案内	9
令和6年度 ほ場整備地区営農プラン意見交換会	5	連合会日誌／表紙写真紹介	10

令和7年度 農業農村整備事業関係予算の概算決定

昨年12月27日、令和7年度農業農村整備事業関係予算が閣議決定されました。

農林水産省の予算総額は、2兆2706億円となり、このうち農業農村整備事業関係予算は、4464億円が計上され、令和6年度補正予算2037億円と合わせ6500億円となりました。

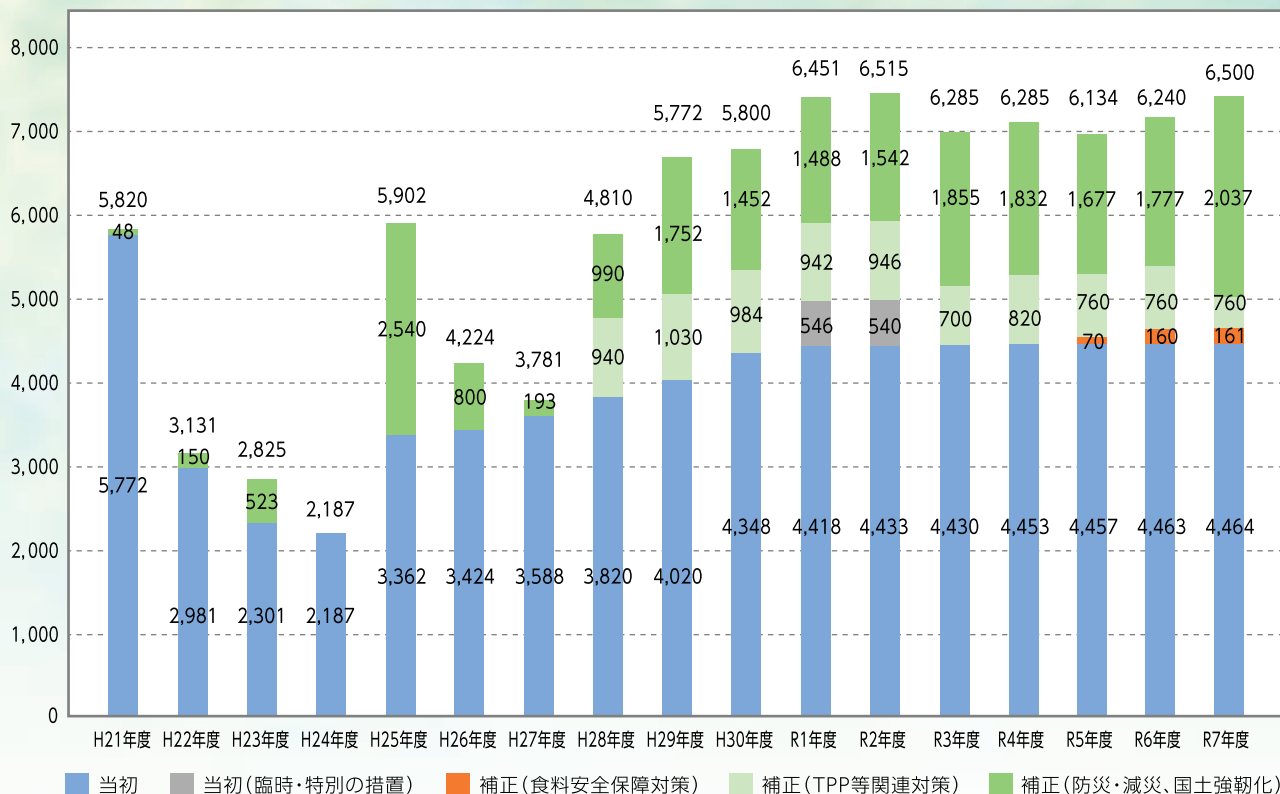
令和7年度 農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

(単位:億円)

	令和6年度 当初予算	令和7年度 当初予算 A	令和6年度 補正予算 B	合計 A+B
農業農村整備事業(公共)	3,326	3,331 (100.2%)	2,037	5,368
農業農村整備関連事業(非公共) 〔農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業 農山漁村振興交付金〕	548	548 (100.0%)		548
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	588	584 (99.3%)		584
計	4,463	4,464 (100.0%)	2,037	6,500

(注) 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

農業農村整備事業関係予算の推移



土地改良事業関係予算の概要

令和7年度当初予算
※カッコ内は令和6年度当初予算

① 農業農村整備事業＜公共＞ スマート農業技術の導入に資する農地の大区画化、水田の汎用化・畑地化、農業水利施設の計画的な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、省力化等による適切な保全管理、ため池の防災・減災対策、田んぼダムの取組拡大等流域治水対策、農道、集落排水施設の整備等を推進	3,331億円 (3,326億円)
② 農業農村整備関連事業＜非公共＞ ● 農地耕作条件改善事業 農地中間管理機構による農地の集積・集約化、麦・大豆や高収益作物への転換を推進するため、機構による担い手への農地の集積・集約化が行われる地域等において、農地の区画拡大や排水改良等を支援	198億円 (198億円)
● 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、機動的・効率的な長寿命化・防災減災対策を支援	282億円 (282億円)
● 畑作等促進整備事業 麦・大豆等の生産拡大を推進するため、畑作物・園芸作物が生産される地域を対象に、暗渠排水等の基盤整備をきめ細かく機動的に支援	22億円 (22億円)
● 農山漁村振興交付金 農山漁村での定住や都市と農山漁村の交流促進、農山漁村に関わる関係人口の創出・拡大に向け、「しごと」「くらし」「活力」「土地利用」の観点から、官民共創、農泊や農福連携などの取組、農村型地域運営組織（農村RMO）の形成、棚田地域の振興、中山間地域等における農用地保全、情報通信環境の整備、都市農業の振興等を総合的に推進	46億円 (46億円)
③ 農山漁村地域整備交付金＜公共＞ 地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付	584億円 (588億円)

農業農村整備に関する意見交換会（予算キャラバン）

去る1月21日、新潟県庁において、農業農村整備に関する意見交換会（予算キャラバン）が開催されました。この意見交換会には、農業農村整備事業を巡る地域の課題・要望等についての意見交換を目的に、農林水産省、新潟県農地部、土地改良区の役職員など約60名が参加しました。

新潟県農地部の野中部長の挨拶で開会し、農林水産省農村振興局整備部設計課の渡邊首席農業土木専門官から令和7年度農業農村整備事業等予算概算決定の概要や土地改良法の見直しについて説明がありました。その後、農林水産省と市町村および土地改良区との意見交換会が行われました。



＜野中部長＞



＜会場の様子＞

新潟県知事と農林漁業六団体との懇談会

農林漁業六団体

一般社団法人新潟県農業会議

新潟県農業共済組合

新潟県土地改良事業団体連合会

新潟県森林組合連合会

新潟県漁業協同組合連合会

新潟県農業協同組合中央会

去る1月8日、ANAクラウンプラザホテル新潟(新潟市)において、新潟県知事と農林漁業六団体との懇談会が開催されました。

この懇談会は、農業・林業・水産業が抱えている現場の声を伝えることにより、行政・農林漁業六団体が一体となって農林漁業の振興を目指すことを目的としたもので、新潟県知事、農地部長、農林水産部長、各団体の会長など26名が参加しました。

新潟県農業協同組合中央会の伊藤代表理事会長の挨拶で開会し、六団体の代表として新潟県農業会議の石山会長が、花角知事へ要望書を手交した後、各団体から要望事項説明があり、本会の帆刈会長から花角知事へ要望事項の説明を行いました。



< 花角知事へ要望書を手交 >



< 意見交換会の様子 >

本会の要望事項

- 将来の本県の農業生産を支える担い手の確保・育成が急務であるとともに、園芸生産への機運醸成により従来にも増してほ場整備のニーズが高まっている。このため、地域の要望に応える農業農村整備事業の予算の確保とともに、スムーズな園芸導入に向けた支援の充実を図りたい。
- 本県では、安定的な農業生産を継続するための用排水施設を多く抱え、これらは、地域住民の生活にも密着した施設となっている。施設の適時・適切な保全管理は、県土の維持・発展に大きく関わる。計画的かつ経済的な補修・更新などを進めるために必要な予算を確保されたい。
- 土地改良区は、事業を通じ農業農村の持続と発展のために大切な制度資本であることから、安定的かつ適切な運用が求められる。このため、土地改良区への指導や研修・人材育成など運営基盤の強化に資する事業の充実を図りたい。

令和6年度 北陸四県土地改良事業団体協議会 総務部会・設計部会

昨年12月18日及び19日の2日間、福井県において、令和6年度北陸四県土地改良事業団体協議会総務・設計部会が開催されました。

この会合は、日々の業務における課題や対策について意見交換及び情報の共有を行うことにより、業務の効率化を図ることを目的としており、各県の総務・技術の実務担当者の16名が参加しました。

1日目は、総務・技術の担当者に分かれ、総務部会では、広報活動や福利厚生等が協議され、設計部会では、設計や積算基準について協議が行われました。

2日目は、施設を管理する九頭竜川鳴鹿土地改良区を訪問し、国営九頭竜川下流農業水利事業で造成された取水施設やパイプライン施設を視察しました。

概 要

12月18日	
内 容	参 加 者
総務部会協議	北陸四県総務部職員 8名
(内 容) ・表彰の選考基準、福利厚生、広報活動、職員採用等について	
技術部会協議	北陸四県技術部職員 8名
(内 容) ・事業計画書作成、ストックマネジメント、設計及び積算基準等について	

12月19日	
内 容	参 加 者
現地視察	北陸四県総務、技術部職員 16名
(内 容) ・九頭竜川下流地区の農業水利施設の視察	

令和6年度 新潟県園芸振興大会

去る1月21日、ANAクラウンプラザホテル新潟(新潟市)及びオンラインにおいて、令和6年度新潟県園芸振興大会が開催されました。

この大会は、今後の園芸振興への戦略について情報共有し、更なる生産拡大を図ることを目的として、会場及びオンラインにて関係者約560名が参加しました。

新潟県の花角知事ならびにJA新潟中央会・連合会の伊藤会長の挨拶で開会し、園芸振興に関する情勢報告や事例発表などが行われました。

大会概要

内 容	説 明 者
開会挨拶	新潟県 知 事 花 角 英 世 JA新潟中央会・連合会 会 長 伊 藤 能 徳
来賓挨拶	新潟中央青果株式会社 代表取締役社長 大 澤 厚 志
情勢報告① 新潟県園芸振興基本戦略の進捗状況と次期戦略の方向性について	新潟県農林水産部農産園芸課 課 長 渡 部 浩
情勢報告② JA全農にいがた園芸生産拡大の取り組みについて	JA全農にいがた園芸部 部 長 北 村 知 栄 子
事例発表 JA新潟市園芸産地の取り組み～南浜ハウス団地～	JA新潟市北部営農センター 次 長 野 上 克 巳
講演① 産地連携の取り組みと県内園芸産地への期待	新潟中央青果株式会社 代表取締役社長 大 澤 厚 志 常務取締役 岩 名 久 人 取締役主管 早 川 隆 行
講演② 次世代の園芸産地を担う経営体育成に必要な職場環境づくり	ミナミ事務所 社会保険労務士 南 澤 伸 子
情報提供 収入保険について	新潟県農業共済組合 収入保険部収入保険課 川 崎 文 広
産地代表からの決意表明 園芸拡大への意気込み	JA新潟かがやきいちじく部会 笹 川 隆 介 JA魚沼 ねぎ生産組合 水 品 雅 嗣 JAえちご上越 えだまめ部会 早 津 知 祥

令和6年度 ほ場整備地区営農プラン意見交換会

去る1月22日、新潟ユニゾンプラザ(新潟市)において、令和6年度ほ場整備地区営農プラン意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、ほ場整備地区の農業者や土地改良区の職員等を対象に、各地区の課題等の情報を関係機関と共有し、営農プランの実現に資することを目的としており、会場には、関係者約340名が参加しました。

新潟県の野中農地部長の挨拶で開会し、園芸産地の育成・拡大に係る取組や水稻の低コスト化技術に関する情報提供を行いました。

その後、令和6年度新規着工及び令和7年度新規着工要望地区の方から営農プランの発表が行われ、水稻と水田園芸の両立などの取組紹介がありました。

最後に、新潟食料農業大学の青山教授を招いて、ほ場整備地区の方々との意見交換会を行いました。

意見交換会概要

内 容	説 明 者
開会挨拶	新潟県農地部 部 長 野 中 振 拳
情報提供① ほ場整備を契機とした園芸産地の育成・拡大に係る2割園芸の見直しと期待される取組	新潟県農地部農地計画課 営農経済係 副参事 松 崎 裕 紀
情報提供② 水稻の低コスト(省力)化の必要性和コスト低減技術の紹介	新潟県農地部農地整備課 農地集積担当 副参事 長谷川 和徳 新潟県農林水産部経営普及課 農業革新支援担当 副参事 田 辺 茂 郷
営農プラン発表	令和6年度新規着工地区及び令和7年度新規着工要望地区(5地区)の関係者 継続地区(1地区)の関係者
発表者との意見交換 (テーマ: 品目選定、人材確保、生産コストの低減)	新潟食料農業大学 教 授 青 山 浩 子 (総括) 新潟県農地部農地整備課 農地集積担当 副参事 長谷川 和徳 (コーディネーター) 新潟県農地部農地計画課 営農経済係 副参事 松 崎 裕 紀 (パネリスト) 新潟県農林水産部経営普及課 農業革新支援担当 副参事 田 辺 茂 郷 (パネリスト) 営農プランの発表者 6名(パネリスト)
閉会挨拶	新潟県経営体育成農地集積促進協議会 会 長 澁 谷 幸 男



< 野中部長 >



< 青山教授 >



< 澁谷会長 >



< 意見交換会の様子 >

令和6年度 土地改良区(連合)役職員合同研修会

昨年12月17日、新潟テルサ(新潟市)において、令和6年度土地改良区(連合)役職員合同研修会を開催しました。

この研修会は、土地改良区(連合)役職員を対象に、土地改良区の運営に関する講義を通じ、役職員の方々の資質向上を目的としており、会場には、約450名が参加しました。

当会の坪谷専務理事の挨拶で開会し、国や県の職員、税理士を講師に招き、土地改良区の運営や収支構造の分析など、3つの講義を行いました。

研修会概要

内 容	説 明 者
開会挨拶	新潟県土地改良事業団体連合会 専務理事 坪谷 満久
・土地改良区の運営について ・所有者不明農地等解消に向けた取組	農林水産省北陸農政局土地改良管理課 土地改良指導官 前田 仁
土地改良区の収支構造の分析と健全な 予算編成について	佐藤大地税理士事務所 税理士 佐藤 大地
・人権啓発活動の取組状況 ・令和5年度土地改良区の決算状況	新潟県農地部農地計画課土地改良係 副参事 佐藤 勉



< 前田土地改良指導官 >



< 佐藤税理士 >



< 佐藤副参事 >



< 会場の様子 >

令和6年度 換地計画作成及び換地処分実務研修会

昨年11月28日から29日の2日間、県土連ビル(新潟市)において、令和6年度換地計画作成及び換地処分実務研修会を開催しました。

この研修会には、換地に関する事務の理解促進を目的として、約100名が参加しました。

当会の坪谷専務理事の挨拶で開会し、換地計画書作成実務や所有者不明土地の取扱いに関することなど、2日間で12の講義を設けて行いました。

研修会概要

11月28日		
内 容	説 明 者	
開会挨拶	新潟県土地改良事業団体連合会	専務理事 坪谷 満久
土地改良法の概要及び法手続きについて	新潟県農地部 農地計画課土地改良団体係	主 査 笛木 隆弘
農地中間管理機構関連農地整備事業について	新潟県農地計画課計画係	主 査 佐藤 匠
農地中間管理事業について	新潟県農林公社 農地中間管理事業課	企画調整員 本間 雅之
換地理論	北陸農政局農村振興部 土地改良管理課	土地改良指導官 前田 仁
新たな財産管理人制度の活用について	北陸農政局農村振興部 土地改良管理課	土地改良指導官 前田 仁

11月29日		
内 容	説 明 者	
換地計画書作成実務	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部換地第2課	課長補佐 田邊 淳志
換地選定について	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部換地第1課	係 長 高本 真奈
土地評価・清算について	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部換地第2課	課長補佐 湯浅 利一
交換分合について	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部換地第2課	課長補佐 桐生 文則
確定測量について	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部測量課	課 長 矢野 貴男
表示に関する登記について、所有者不明土地の取扱いについて 国庫帰属制度について、代位登記について	新潟県方法務局 不動産登記部門	次席登記官 本間 裕久 表示登記専門官 栗山 奨
換地計画書審査のポイント 換地関係異議紛争の現状と課題について	新潟県農地部 農地整備課農地集団化係	係 長 川端 周 主 事 渋谷 希



< 佐藤主査 >



< 本間企画調整員 >



< 渋谷主事 >



< 研修会の様子 >

令和6年度土地改良区(連合)技術系職員研修会 「低炭素化に向けた講演&ワークショップ」

去る1月31日、県土連ビル(新潟市)において、令和6年度土地改良区(連合)技術系職員研修会「低炭素化に向けた講演&ワークショップ」を開催しました。

この研修会は、昨今の電気料高騰等の情勢を踏まえ、農業水利施設等の「低炭素化」の普及・啓発を図る目的としており、当日は、土地改良区や当会の技術職員など約50名が参加しました。

当会の小林事務局長の挨拶で開会し、「低炭素化」に関わる講義や事例発表を行いました。

その後、「農業水利施設の低炭素化を進めるために行政や土地改良区が果たす役割」をテーマとして、出席者が複数のグループに分かれ、低炭素化の課題や将来の低炭素化について意見を交わしました。



<ワークショップの様子>

研修会概要

内 容	説 明 者
開会挨拶	新潟県土地改良事業団体連合会 事務局長 小林 由紀雄
講演① 低炭素化を進めるために	農林水産省農村振興局 整備部水資源課 政策情報分析官 田中 卓二
講演② 電機・ポンプの基礎知識	(一社)農業土木機械化協会 技術部長 菊田 恭輔
事例発表① 配水槽式自然圧パイプラインシステムによる省エネルギー化	西蒲原土地改良区計画課 課長 灰野 光義
事例発表② インバータ制御を利用した省電力化	荒川沿岸土地改良区事業課 課長 小田 和彦
ワークショップ	研修会参加者



<田中政策情報分析官>



<菊田技術部長>



<灰野課長>



<小田課長>

非補助農業基盤整備資金のご案内

国の補助を受けない土地改良事業・生活基盤整備事業等に対して、
低利の融資が受けられます。

非補助農業基盤整備資金とは

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国の補助なしで、かんがい排水や維持管理などの事業を実施して農業生産基盤整備・保全の推進を図る場合、日本政策金融公庫が農家負担の軽減を目的に低利で融資する資金です。

ご利用いただける方

土地改良区、土地改良区連合(事業主体になる場合に限る)等

融資対象事業

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、維持管理、暗渠排水、客土、農道、索道畦畔整備、農地造成、農地保全、防災、農地保全、農業集落排水、その他

利 率

1.50 % (令和7年2月20日現在)

※固定金利であり、償還が終わるまで適用される金利は変わりません。

※金融情勢等により貸付金利は変動しますので、最新の利率を確認する際には、日本政策金融公庫新潟支店農林水産事業(TEL 025-240-8511)にお問い合わせ下さい。

(注) 金利情勢の変化等にかんがみ利子軽減事業は平成8年より当分の間中止しています。

償還期間

25年以内(うち据置期間10年以内)

融資限度額

最高限度額：当該年度に借入者が負担する額

(農業集落排水事業では一部施設ごとに限度額を設定)

最低限度額：融資1件につき50万円

(災害復旧事業の場合は、1件につき10万円)

非補助農業基盤整備資金を活用した事業例など、この資金の詳細については、
北陸農政局のホームページをご確認下さい。

アドレス http://www.maff.go.jp/hokuriku/nnjigyoku/shikin_index.html



連合会日誌

1月 8日 (水)	知事と農林漁業六団体懇談会	新潟市
10日 (金)	全国土地改良事業団体連合会事務責任者会議	オンライン
15日 (水)	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 事務責任者会議	石川県
21日 (火)	令和6年度 新潟県園芸振興大会	新潟市 (オンライン同時開催)
	意見交換会(予算キャラバン)	新潟市
22日 (水)	令和6年度 ほ場整備地区営農プラン意見交換会	新潟市
31日 (金)	令和6年度 技術系職員研修会「低炭素化に向けた講演&ワークショップ」	県土連ビル
2月 5日 (水)	本会監事会監査	県土連ビル
12日 (水)	第3回 組織運営検討委員会	県土連ビル
19日 (水)	本会正副会長会議	県土連ビル
26日 (水)	本会理事会	新潟市
3月 7日 (金)	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 事務責任者会議	福井県
19日 (水)	第65回 土地改良功労者表彰式	県土連ビル
	第67回 本会通常総会	県土連ビル
26日 (水)	令和6年度 全国土地改良功労者等表彰式	東京都
	全国土地改良事業団体連合会 第67回通常総会	東京都

表紙写真紹介



作 品 名：雪どけを待つ

撮影場所：小国町大貝農家ため池

撮 影 者：畔原 実 氏

表紙の写真は、全国水土里ネットが主催する「第4回水が伝える豊かな農村空間疎水・ため池のある風景」写真コンテストのため池部門で入選した作品です。

小国町(長岡市)は、新潟県の中南部に位置し、東西を関田山地と八石山地に囲まれ、中央を信濃川水系の渋海川が貫流する水と緑の豊かな地域です。

周囲を山に囲まれ、冬季には多くの積雪がある本地域では、「おぐに雪まつり」と題した冬の祭典が開かれるなど、冬を楽しみながら、雪解けの春の訪れを待ちます。



未来の「水」「土」「里」を創造する

